

科目名	ミュージックリテラシー 2							年度	2025
英語科目名	Music Literacy 2							学期	後期
学科・学年	コンサート・イベント科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	山中一郎	教員の実務経験		有	実務経験の職種		レコード会社、コンサートプロモーター勤務経験		
【科目の目的】 音楽ビジネスの構造・諸問題・話題に関するリテラシーの向上、及び業界で活動するために必要なコミュニケーション能力を身につけることができる。一言に音楽業界といっても、さまざまな職種が存在するが、そのいずれにも通用する知識・能力であり、またその領域は、音楽業界と密接に関係する周辺のエンターテイメントにも及ぶ。									
【科目の概要】 音楽業界における知識・テーマ（特に実技ではカヴァーされない範囲）を意識して計画される。具体的には、現在のエンタメ業界を読み解く基礎知識を講義する。業界の基礎となる知的財産（著作権等）にも触れる。必要に応じ、グループワークも適宜実施し、様々な議題について意見交換し結論を導き出すことで、会議の意義を学習する。									
【到達目標】 A. 多様な興味の醸成 - 自分がそれまであまり接してこなかった音楽ジャンルの魅力を発見する。 B. 各音楽ジャンル特有の、専門用語の習得、歴史上の事象、主要アーティスト等の知識を習得する。 C. 総合的な思考力の発展 - 多面的な視点から問題や課題へアプローチ									
【授業の注意点】 授業時限数の4分の3以上出席しない学生は、定期試験を受験する事ができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	現在から過去までの様々な音楽ジャンルの形、魅力について理解をしている。		様々な音楽ジャンルの形、魅力について一部理解している。		音楽ジャンルの形、魅力についてほとんど理解していない。				
到達目標 B	各音楽ジャンル特有の専門用語、事象、主要アーティスト等について、正しく知識を習得している。	各音楽ジャンル特有の専門用語、事象、主要アーティスト等に関する知識を、概ね習得している。	各音楽ジャンル特有の専門用語、事象、主要アーティスト等の知識を、ジャンルによる偏りはあるものの、概ね習得している。	各音楽ジャンル特有の専門用語、事象、主要アーティスト等の知識について、大きな偏りがある。	各音楽ジャンル特有の専門用語、事象、主要アーティスト等の知識の、いずれもほとんど習得していない。				
到達目標 C	得た知識を用いて様々な分野への転用を考えられる。		広い視野を持って物事を考える事ができている。		物事を多面的に考えることができていない。				
【教科書】 適時プリントを配布する。									
【参考資料】 参考書・参考資料等は、授業中に指示する。									
【成績の評価方法・評価基準】 期末試験、授業内課題									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

